

## 急傾斜地崩壊危険区域内行為許可申請書に添付する図面及び書類

No.	図 面 及 び 書 類		
	種 類	明 示 し な け れ ば な ら ない 事 項	縮 尺
1	位 置 図	申請箇所及び急傾斜地崩壊危険区域	適 宜
2	計画平面図 (本体工関係)	現況の地形等、周囲の状況、隣接境界線、急傾斜地崩壊危険区域線、開発区域線、縦・横断面図面の測点、測線、申請内容を凡例により着色明示	500分の1以上
3	縦・横断面図 (本体工関係)	測点のGH(現況地盤高)、FH(施工高)及DL(基準面)、隣地境界線、急傾斜地崩壊危険区域線、開発区域線、計画構造物の切取り・掘削線、岩盤線又は推定岩盤線、構造物の排水溝、構造物上部の崩壊防止柵(ロックフェンス)、造成地内の排水勾配、計画横断面図面に柱状図(標高記入)、横断面図に崖上及び崖下にある人家を記入	100分の1程度
4	構造図、構造物安定計算書 (本体工関係)	工作物の詳細図、平面図、正面図、側面図、展開図	適 宜
5	公 図 (写)	申請地を朱線で明示、土地所有者の氏名明示	
6	敷地求積図、行為面積求積図	急傾斜地崩壊危険区域内の求積であること。	
7	切土・盛土平面図	切土・盛土の別がわかるよう色分けをすること。	適 宜
8	排水系統図	雨水・汚水別に色分けをすること。	
9	写 真	申請箇所の現況がわかるものを数枚程度用意すること。 (ポラロイド不可)	
10	事前調査		
11	計画平面図 (仮設工関係)	仮設工を施工する位置及び工法、施工中の雨水についての対応施設(仮排水路、調整池等)	適 宜
12	計画横断面図 (仮設工関係)	計画横断面図に仮設工(山留工、仮設防護柵、仮排水路等を明示、標準断面図に施工順序(仮設～切取り・掘削～構造物の設置)を明示	適 宜
13	構 造 図 (仮設工関係)	防止施設又は土留擁壁の構造図、仮設工の構造図、仮排水路工、調整池等の構造図	適 宜
14	隣接地主の施工同意書、借地契約書等	本体工、仮設工において、隣接地境界線を越えるものについては隣接地主の施工同意書、土地使用承諾書、借地契約書等を添付すること。	
15	施工計画書	工事の概要、実施工程、現場組織、主要機械、主要資材、施工方法及び施工順序、施工管理緊急時の体制、運搬車両等の交通管理、発生土の処理計画(処分場、処理業者)、その他特に指示する事項	
16	その他知事又は所長が必要と認める図面及び書類	登記簿謄本、委任状、その他必要な図面及び書類 行為地の所有者の施工同意書等	

※ 行為別の添付図書及び書類の一覧は、裏面参照してください。

急傾斜地崩壊危険区域内行為別提出書類区分(標準)

	提出書類	行為内容						
		水の浸透を助長する行為 (法7条1項1号)	急傾斜地崩壊防止施設以外又は工作物の設置又は改造 (法7条1項2号)	のり切、切土、掘さく又は盛土 (法7条1項3号)	立木竹の伐採 (法7条1項4号)	木竹の滑下又は集積 (法7条1項5号)	土石の採取又は集積 (法7条1項6号)	その他、急傾斜地の崩壊を助長し、又は誘発するおそれのある行為で政令で定めるもの (法7条1項7号)
1	位置図	○	○	○	○	○	○	○
2	計画平面図 (本体工関係)	○	○	○	○	○	○	○
3	縦・横断面図 (本体工関係)	○	○	○	△	△	○	○
4	構造図、構造物 安定計算書 (本体工関係)	○	○	○	—	—	—	○
5	公図(写)	○	○	○	○	○	○	○
6	敷地求積図、行為面積求積図	○	○	○	△	△	○	○
7	切土・盛土 平面図	○	○	○	—	—	○	○
8	排水系統図	○	○	○	—	—	—	○
9	写真	○	○	○	○	○	○	○
10	事前調査	○	○	△	—	—	○	○
11	計画平面図 (仮設工関係)	△	△	△	△	△	△	○
12	計画横断面図 (仮設工関係)	△	△	△	—	—	—	△
13	構造図 (仮設工関係)	○	○	○	—	—	—	○
14	隣接地主の 施工同意書、 借地契約書等	○	○	○	○	○	○	○
15	施工計画書	△	△	△	△	△	△	△
16	その他知事又は 所長が必要と認める 図面及び書類	○	○	○	○	○	○	○

注1 「○」の書類は必ず提出する書類。「—」の書類は提出不要。

注2 別表の行為許可申請書に添付する図面及び書類は、標準を示したものであり、行為内容、規模により「△」の書類は省略できます。